

2026年3月31日

各 位

株式会社三井住友銀行

阪神国際港湾株式会社への「神戸サステナブルファイナンス・フレームワーク」  
を活用した「グリーンローン」の実施について

株式会社三井住友銀行（頭取 CEO：福留 朗裕）（以下、「三井住友銀行」）は、阪神国際港湾株式会社（代表取締役社長：木戸 貴文）（以下、「阪神国際港湾」）に対し、グリーンローン（以下、「本ローン」）を実施いたしました。なお、本ローンは神戸市が策定した「神戸サステナブルファイナンス・フレームワーク」（以下、「本フレームワーク」）を活用した案件となります。

グリーンローンは、企業等が環境問題の解決に貢献する事業（以下、「グリーンプロジェクト」）に要する資金を調達する際に用いられる融資であり、具体的には、①調達資金の用途がグリーンプロジェクトに限定され、②調達資金が確実に追跡管理され、③それらについて融資後のレポートを通じ透明性が確保されたものを指します。

本フレームワークは、神戸市が市域の脱炭素投資に係る資金調達をサポートする枠組みとして三井住友銀行による支援を得て策定したもので、DNV ビジネス・アシュアランス・ジャパン株式会社より国際金融業界団体の LMA（Loan Market Association）、LSTA（Loan Syndications and Trading Association）及び APLMA（Asia Pacific Loan Market Association）にて策定された「グリーンローン原則（2025年版）」、並びに環境省にて策定された「グリーンローンガイドライン（2024年版）」において求められる項目について 基準を満たしているとの評価を得ています。

阪神国際港湾は、ありたい姿である「船社・荷主企業に選ばれる阪神港」に向け、「脱炭素社会の実現に向けた CNP 形成支援」を基本戦略の一つと定め、新しい技術の導入等により脱炭素化を促進し、港の価値を向上させることを目指しています。

阪神国際港湾は、このような取組の一環として、神戸市の「脱炭素先行地域づくり事業」に共同提案者として参画しております。本ローンにより調達した資金については、神戸港ポートアイランドコンテナターミナルにおける、「回生機能付電動コンテナクレーン製作据付工事」の工事費へ充当される予定です。

三井住友銀行では、お客さまのサステナビリティ経営に向けたソリューションの提供や対話を行い、持続可能な社会及び市場の形成にも一層貢献を行ってまいります。

【本ローンの概要】

契約日	2026年3月26日
実行日	2026年3月31日
契約金額	2.44億円
貸付人	株式会社三井住友銀行
借入人	阪神国際港湾株式会社

(ご参考)

阪神国際港湾株式会社ホームページ：

<https://hanshinport.co.jp/>をご参照ください。

神戸サステナブルファイナンス・フレームワーク：

<https://www.city.kobe.lg.jp/a73498/energy/20250930.html>をご参照ください。

以 上

【本件に関するお問い合わせ先】

法人戦略部サステナブルソリューション室

TEL：03-4333-6965

このお知らせは、投資や勧誘を推奨することを目的としたものではありません。